



## 音声訳を考える

### パソコン読みになっていませんか？

音声訳後期講習会が5月からスタートしています。この講習会には40名あまりの方の申し込みがあり、初心者と経験者は半々の申し込み状況でした。

これまでの選考は読みと漢字の評価を中心にしていましたが、今回は音声訳者の「センス」を見る問題も取り入れてみました。初心者と経験者とで不利にならないように配慮しましたが、意外なことに初心者の方が「音声訳のセンスが良い」という結果が出てしまいました。

なぜそうなったのか。考えられるのは「音声訳」というものの考え方、あるいはその教え方に問題があったのではないのか、そんな気がします。

「原本通りに読む」それが音声訳者の仕事である、と教えられるケースが多いと思います。「原本どおりに読んで、あとは聞いた人が判断する」これが音訳者の仕事だと教えられると、今度はそれが一人歩きしてしまい、内容がわかろうとわかるまいと意に介さず、コンピュータ的な読み（機械的な読み）になってしまうのでしょうか。しかし、本の内容によっては「原本通り」に読んでも内容がまったく伝わらないことはたくさんあります。こうしたケースで音声訳者が聞き手にちゃんと伝えるように読むのがこれまでいわれている「処理」にあたる部分です。コンピュータの音読では絶対に真似ができないものです。

たとえば記号の読み方ひとつとっても音声訳する場合さまざまなケースがあります。マニュアルにはいろいろな読み方が書いてありますが、音声訳では極端な言い方をすれば、それだけではなんの役にも立ちません。

たとえば「・・・」という記号ですが、この記号も文章の中ではさまざまな意味の使われ方をします。マニュアルには記号としての読み方は「てんてんてん」や「3点リーダー」と書いてありますが、文章の中では、「前略」、「中略」、「後略」であったり、「沈黙」であったり、「前の繰り返しの意味であったり」とさまざまな使われ方をします。文章ではさまざまな意味で使われている記号も、その記号の読み方を

そのまま音声化しただけでは、文章の意味を伝えられない場合がたくさんあります。記号をどう読むかは著者が使っている記号の意味を理解しながら、もっとも相応しい読み方をしなくてはなりません。

「・・・川辺にでてみると・・・ガニ、・・・ガニ・・・ガニ。」

この文章を『川辺にでてみると、てんてんガニ、てんてんガニ。てんてんガニ。』と読んだり『川辺に出てみると、ガニ、ガニ、ガニ。』と読まれた方がありましたが、これでは新種の「カニ」が生まれてしまいそうです。ここでの「・・・」の記号は、“いろんな種類の名前のわからないカニがいる”意味で使われていたわけですが、このケースでは「なになにガニ、なになにガニ、・・・」とか「なんとかガニ、なんとかガニ、・・・」といった読み方もできますがマニュアルには載っていません。

今回のセンスを見る問題の一つに「・・・・・・・・」の読み方も出しました。記号の意味は“前掲した文章を再掲する意味”で使われていたのですが、音声訳の経験のある方の多くは「六点リーダー」とか「てんてんてん」などの読みを選ばれ、初心者の方ほとんどが正解されているのとは対照的な結果になりました。

音声訳の「処理」を勉強するのに専門家を招く必要はありません。墨字を見ていない第三者が音声を聞いて内容が伝わるかを聞いてもらえば良いわけです。ですから、勉強会ではお互いに原文を知らないチームをつくり交互に読んでいくことも充分勉強になります。また各自がテープに吹き込んでみんなで聞くといい勉強になります。

※内容を伝えるということと、「難しい言葉」の意味を説明しながら読むこと(＝お節介)とは違うのでご注意。

(清水)

## 先月の例文の処理例

今回は、ある勉強会で録音したものを参考までに墨訳してみました。この読みが回答というものではありません。実際にテープに入れ、聞いてみてどれがわかりやすいか研究してみましょう。

### 例文

時計が後れて列車に遅れる

「遅れる」の「遅」は、「遅刻」と使われるように、「一定の時刻・時期よりも後になる」という意味です。「野球の試合開始が遅れる」といえば、一時にはじまるはずの試合が一時過ぎの開始になったということになります。

これに対し、「後れる」の「後」は「先」に対応し、「他のものよりも後になる」という意味です。「流行に後れる」「人に後れをとる」などがその例です。また、「後れ毛」「気後れ」などの語もあります。

では「時計がおくれていたので、列車におくれてしまった」の文はどうなるでしょうか。「時計がおくれる」は一日に二十四時間進むべき時計がそれよりもおくれるのですから「後れる」、「列車におくれる」は発車時刻におくれるので「遅れる」となります。

正解は「時計が後れていたのに、列車に遅れてしまった」となります。

なお、「ておくれ」については、「手遅れ」「手後れ」のどちらを書いてもかまいません。

最小限を最少限と書く間違い

「最小限」とは「これ以上ないという限界に達するまで小さいこと」といった意味です。

これを「出費をサイショウゲンに抑える」というように使うとき、「小さい」というよりも「少ない」という意味のほうが強くなっています。こんなとき、つい「最少限」と書いてしまいがちですが、これは誤り。なぜなら、「サイショウゲン」の反対語は「最大限」だからです。「大」と「小」の対比で「少ない」の意味のときでも「最小限」と書くべきです。ちなみに、「縮小」もこれと同じ。反対語が「拡大」なので、「縮少」は誤りです。

一生懸命は間違いなのか

このことばの本来の形は「一所懸命」です。もともと武士の間で使われていたことばで、「一所」とは自分の所領地のことです。つまり、「一所懸命」とは、「一カ所の所領を命にかけて頼みにすること」で、それが「命がけで事を行うこと」の意味に転じたのです。ところが、「命がけ」からの連想でいつのまにか「一生懸命」と書く人が多くなり、発音も「いっしょう」と延ばすほうがふつうになりました。

国語辞典によっては「一生懸命」を誤りとしているものもありますが、一般にはむしろ「一生懸命」と書く人のほうが多いと思われ、「一所懸命」の転として認めるというのが大勢のようです。ちなみに、新聞では「一生懸命」に統一されています。

### Aさんの例

時計が後れて列車に遅れる。初めの「後れて」は後先の「後」に送り仮名「れて」。二つ目の「遅れる」は「遅い」に送り仮名「れる」。「遅い」の「遅れる」の「遅い」、音は「ち」、は「遅刻」と使われるように、「一定の時刻・時期よりも後になる」という意味です。「野球の試合開始が遅れる」といえば、一時にはじまるはずの試合が一時過ぎの開始になったということになります。

これに対し、あとの「後れる」の「後」は「先」に対応し、「他のものよりも後になる」という意味です。「流行に後れる」「人に後れをとる」などがその例です。また、「後れ毛」「気後れ」などの語もあります。

では「時計がおくれる」は一日に二十四時間進むべき時計がそれよりもおくれるのですから、あとの「後れる」、「列車におくれる」は発車時刻におくれるので「遅い」の「遅れる」となります。

正解は「時計が、あとの、後れていたので、列車に、遅いの、遅れてしまった」となります。なお、「ておくれ」については、遅いの「手遅れ」、あとの「手後れ」のどちらを書いてもかまいません。

最小限を最少限と書くのは間違い。初めの最小限の「小」は「小さい」、二つ目の「少」は「少ない」「最小限」とは「これ以上ないという限界に達するまで小さいこと」といった意味です。

これを「出費をサイショウゲンに抑える」というように使うとき、「小さい」というよりも「少ない」という意味のほうが強くなっています。こんなとき、つい（「少ない」の）「最少限」と書いてしまいがちですが、これは誤り。なぜなら、「サイショウゲン」の反対語は「最大限」だからです。「大」と「小」の対比で「少ない」の意味のときでも（「小さい」の）「最小限」と書くべきです。ちなみに、「縮小」もこれと同じ。反対語が「拡大」なので、（「少ない」の）「縮少」は誤りです。

一生懸命は間違いなのか。このことばの本来の形は「一所懸命」です。もともと武

士の間で使われていたことばで、「一所」とは自分の所領地のことです。つまり、「一所懸命」とは、「一ヶ所の所領を命にかけて頼みにすること」で、それが「命がけで事を行うこと」の意味に転じたのです。ところが、「命がけ」からの連想でいつのまにか「一生懸命」、「一生」は「人の一生」の「一生」、と書く人が多くなり、発音も「いっしょう」と延ばすほうがふつうになりました。

国語辞典によっては「一生懸命」を誤りとしているものもありますが、一般にはむしろ「一生懸命」と書く人のほうが多いと思われ、「一所懸命」の転として認めるとするのが大勢のようです。ちなみに、新聞では「一生懸命」に統一されています。

### Bさんの例

時計が後れて列車に遅れる。「遅れる」の漢字「遅い」は、「遅刻」と使われるように、「一定の時刻・時期よりも後になる」という意味です。「野球の試合開始が遅れる」といえば、一時にはじまるはずの試合が一時過ぎの開始になったということになります。

これに対し、「後れる」のもう一つの漢字「後」は「先」に対応し、「他のものよりも後になる」という意味です。「流行に後れる」「人に後れをとる」などがその例です。また、「後れ毛」「気後れ」などの語もあります。

では「時計がおくれていたので、列車におくれてしまった」の文はどうなるでしょうか。「時計がおくれる」は一日に二十四時間進むべき時計がそれよりもおくれるのですから「後」の「後れる」、「列車におくれる」は発車時刻におくれるので「遅い」の「遅れる」となります。

正解は「時計が後れていたのに、列車に遅れてしまった」、前者の「おくれ」は「後」、後者の「おくれ」は「遅い」、となります。

なお、「ておくれ」については、「遅い」の「手遅れ」、「あと」の「手後れ」のどちらをかいてもかまいません。

最小限、「小」は「ちいさい」を最少限、「少」は「すくない」と書くと間違い。「最小限」とは「これ以上ないという限界に達するまで小さいこと」といった意味です。これを「出費をサイショウゲンに抑える」というように使うとき、「小さい」というよりも「少ない」という意味のほうが強くなっています。こんなとき、つい「最少限」（「少」は「少ない」）と書いてしまいがちですが、これは誤り。なぜなら、「サイショウゲン」の反対語は「最大限」だからです。「大」と「小」の対比で「少ない」の意味のときでも「最小限」、「小」は「ちいさい」、と書くべきです。ちなみに、「縮小」もこれと同じ。反対語が「拡大」なので、「縮少」、「少」は少ない、は誤りです。

一生懸命は間違いなのか。このことばの本来の形は「一所懸命」（「一所」は「一つの所」）「一所懸命」です。もともと武士の間で使われていたことばで、「一所」とは自分の所領地のことです。つまり、「一所懸命」とは、「一ヶ所の所領を命

にかけて頼みにすること」で、それが「命がけで事を行うこと」の意味に転じたのです。ところが、「命がけ」からの連想でいつのまにか「一生懸命」（「一生」は「人の一生」の「一生」）と書く人が多くなり、発音も「いっしょう」と延ばすほうがふつうになりました。

国語辞典によっては「一生懸命」を誤りとしているものもありますが、一般にはむしろ「一生懸命」と書く人のほうが多いと思われ、「一所懸命」の転として認めるとするのが大勢のようです。ちなみに、新聞では「一生懸命」に統一されています。

### Cさんの例

時計が後れて列車に遅れる。「遅れる」の、漢字の「ち」は、「遅刻」と使われるように、「一定の時刻・時期よりも後になる」という意味です。「野球の試合開始が遅れる」といえば、一時にはじまるはずの試合が一時過ぎの開始になったということになります。

これに対し、漢字の「あと」の「後れる」の「後」は「先」に対応し、「他のものよりも後になる」という意味です。「流行に後れる」「人に後れを取る」などがその例です。また、「後れ毛」「気後れ」などの語もあります。

では「時計がおくれていたので、列車におくれてしまった」の文はどうなるでしょうか。「時計がおくれる」は一日に二十四時間進むべき時計がそれよりもおくれるのですから、漢字の「あと」の「後れる」、「列車におくれる」は発車時刻におくれるので漢字の「ち」の「遅れる」となります。

正解は「時計が、漢字の「あと」の後れていたの、列車に、漢字の「ち」の遅れてしまった」となります。

なお、「ておくれ」については、漢字の「ち」の「手遅れ」、漢字の「あと」の「手後れ」のどちらを書いてもかまいません。

最小限、「しょう」は漢字の「小さい」、を最少限、「しょう」は漢字の「少ない」、と書くと間違い

「最小限」とは「これ以上ないという」限界に達するまで小さいこと」といった意味です。

これを「出費をサイショウゲンに抑える」というように使うとき、「小さい」というよりも「少ない」という意味のほうが強くなっています。こんなとき、つい、漢字の「少ない」の「最少限」と書いてしまいがちですが、これは誤り。なぜなら「サイショウゲン」の反対語は「最大限」だからです。「大」と「小」の対比で「少ない」の意味のときでも、漢字の「小さい」の「最小限」と書くべきです。ちなみに、「縮小」もこれと同じ。反対語が「拡大」なので、漢字の「少ない」の「縮少」は誤りです。

一生懸命、「しょう」は漢字の「生まれる」、は間違いなのか

このことばの本来の形は「一所懸命」、「しょ」は漢字の「ところ」です。もともとと武士の間で使われていたことばで、「一所」とは自分の所領地のことです。つまり、

「一所懸命」とは、「一ヶ所の所領を命にかけて頼みにすること」で、それが「命がけで事を行うこと」の意味に転じたのです。ところが、「命がけ」からの連想でいつのまにか、「生まれる」の「一生懸命」と書く人が多くなり、発音も「いっしょう」と延ばすほうがふつうになりました。

国語辞典によっては、「生まれる」の「一生懸命」を誤りとしているものもありますが、一般にはむしろ、「生まれる」の「一生懸命」と書く人のほうが多いと思われ、「ところ」の「一所懸命」の転として認めるというのが大勢のようです。ちなみに、新聞では、「生まれる」の「一生懸命」に統一されています。

※ ※ ※ ※

今回の例文は最初が一番ややこしかったようです。「あと」という言葉が、本文に使われている「後」と、音訳者が説明によく使う「前の◎○は・・・、後の◎○は」といった「あと」と混同しそうです。「始めの・・・、2番目の・・・」などと混乱を避けるために工夫された方もありました。

こうした例文で「熟語」を使つての説明は漢字を思い浮かべることができない人にはわかりにくくなります。また、どの言葉を補足しながら読むか、なんでも入れればよいというわけでもありません。最小限で「小」や「少」以外の字も説明された方がありましたが、何を問題にしているのか分かりにくくなります。「イッシュ」「イッシュウ」は読み方で区別できるので全部に入れる必要はないでしょう。必要なことばに必要な補足を上手に入れられるように研究しましょう。

### デージー編集者の為のテキストのご案内

「テープライブラリーにしのみや」でデージー編集者の為のテキストを作成されています。図解・カラー版で大変わかりやすいテキストです。

- 『 図解 初心者のための デイジー編集の基本操作 I 編集の基礎編 』  
頒布価格 1500円(A4 カラー55頁)
- 『 図解 初心者のための デイジー編集の基本操作 II 編集の応用編 』  
頒布価格 500円(A4 カラー16頁)

申し込み先 西宮市立視覚障害者図書館内(テープライブラリー西宮)  
電話 0798-34-5554  
FAX 0798-34-4124

※ お申し込みは、図書館またはグループ単位でお願いしますとのことです。

## ☆☆☆☆☆☆ 今月の練習課題 ☆☆☆☆☆☆

## お言葉ですが

高島俊男

ニホンとニッポンの話が尻切れトンボのままでっせ、とあるかたに注意された。はいはい。これにかぎらず、「そのうちに」とか「折を見て」などと言ったままほったらかしになっているのがいくつもある。

ぼちぼちかたづけてゆかねばなりません。

「ニホンとニッポン」はかかわってくるものが多くて、本欄の一ぺんや二へんではなかなかお話しきれない。ついのびのびになったのであるが、今回はその外壕をうめるようなことを申しあげましょう。

それは、なぜニホンかニッポンしかないのか、言いかえれば、なぜジッポンがないのか、ということだ。

「そんな。日本をジッポンだなんておかしいよ」とおっしゃいますか。でもね、日本をひっくりかえした「本日」をなんとよみますか？[本日休業]のホンジツですね。本日にかぎらず休日も祝日も祭日も平日もみなジツだ。ジツは「日」の漢音である。そして漢音こそ「正音」なのだから、当然ジッポンがあってよさそうなものではありませんか。

言われてみると、「なるほど、なんでジッポンと言わないんだろう。ふしぎだなあ」という気がしてきたでしょう？ほんとにふしぎです。

漢音のジツに対して、「毎日」や「四十九日」の二チが呉音である。

漢音と呉音については前に申したのだが、その後もよく御質問をいただく。

呉音は南方の音だと言うが、朝鮮半島からはいつてきたのではないのか。

朝鮮がなんで南方だ、という苦情があった。南方（長江下流域）の音が朝鮮経由ではいつてきたのである。だから呉音のことを「対馬音」とも言う。

奈良から平安はじめにかけて、留学生が唐の都長安へ行って西北地方の音を学んできた。これを漢音と言う。この漢音に対して、それまで数百年にわたってはいつてきていた音をひっくるめて呉音と呼んだのである。隋唐の前は南北朝時代で、北方は異民族王朝が支配していた。日本は南方の漢人王朝と交際していたのだ。

漢音がはいってくるとこれを「正音」とした。しかし呉音もしぶとく生きのこった。

それで、意味はおなじことなのに、本日の「日」はジツで毎日の「日」は二チ、というようなややこしいことになってしまったのである。

概して、南方系の呉音はやわらかくて耳にこころよい。北方系の漢音はひびきが力強くゴツゴツしている。これは多分、気候風土や住民の性格もそうだったのだろう。

わが国の、京都ことばと東国ことばのちがいのようなものだ。南方はなにごとによらずおだやかでやさしいのである。

呉音と漢音とは種々の対応がある。その一つに、呉音のn音と漢音のd音（もしくはj音）との対応がある。

たとえば男子の「男」と長男の「男」とは意味はおなじことだが、男子はd音ダンで力強く、長男はn音のナンでやわらかい。同じ「老若男女」でも漢音でロウジャクダンジョと言うと強く、呉音でロウニャクナンニョと言うとやわらかい。「美人」「美女」も漢音のビジン、ビジョは音がきたないが、呉音でミニン、ミニョと言うとうつくしい。「女性」と「女人」もだいたい感じがちがう。

同様に、小児は呉音、児童は漢音。

内地や屋内は呉音で、内裏や境内は漢音。

蓮如は呉音で、突如は漢音。

奴婢は呉音で、奴隸は漢音。

人相、人形、人情などは呉音だからひびきがやわらかく、人物、人格、人生などはかたい感じがする。

みなn音とd（もしくはj）音の対応である。

「日」もこの対応を持つものの一つで、漢音のジツはかたく、呉音のニチはやわらかい。

「日本」という表記はずいぶん古くからいくらでもあるが、さてこれを口でどう言っていたかとなると、俄然資料がとぼしい。しかし平安時代には漢音が正音であったのだから正式には「ジッポン」であっただろうし、それはその後もつづいていたはずだ。

前にも御紹介したことがあるが、関ヶ原の戦いのころにポルトガルの宣教師がつくった『日葡辞書』というものがある。当時の日本語をポルトガル語で説明した辞書である（いま岩波書店から出ていてだれでも買えます）。

これを見ると、「日本」は「ジッポン」「ニフォン」「ニッポン」と三か所に出ている（当時のハヒフヘホの発音はfa fi fu fe foだからニフォンになる）。

江戸時代のはじめごろまでは、ジッポンはまだ生きていたことがわかる。ニッポン、ニフォンとあわせて三本立てであった。

そりゃそうだろうね。マルコ・ポーロの「ジパング」も英語のジャパンも、あきらかにジッポン系だもの。— なおマルコ・ポーロが「グ」をつけているのは、「ジパング」は「日本国」なのであって、その国が<sup>グ</sup>guとうつされているのである。

ドイツ語やオランダ語のヤーパン（Japan）、フランス語のジャポン（Japon）、スペイン語のハポン（Japon）なども同系である。

無論これらはみな、直接には、支那人がジッポンと言っていたのをなまっとりいれたのだろうが、当の日本自身にもジッポンはあったのである。

ジッポンは江戸時代二百数十年のあいだに消えうせてしまった。ジッポンだけでなく、上に「日」のつく語は枕をならべて討死している。



かつて日本のことを「日東」とも言った。七部集『冬の日』の「日東の李白が坊に月を見て」は「ジットウの李白」だから（日東の李白とは石川丈山のこと）、芭蕉のところまではたしかに日東だったのだが、のちには日東になっている。――そう言えば「日東紅茶」というのがありましたね。あれも「日本の紅茶」の意。

太陽が沈む「日没」は漢音の日没じつぼつと呉音の日没にちもつと両方あったのが、合併して日没にちぼつ一つになった。いまや上につく「日」は、かろうじて「日月」だけが生きのこっているが、これも「日月」に負けて余命いくばくもなさそうだ。

もともと上に「日」のつく語は、日記、日用、日光、日参等々断然ニチが優勢である。ジツはごく数がすくない。それが優勢なニチにひかれてつぎつぎにくらえした。この趨勢のなかで、ジッポンもまたニッポンに吸収されて消えてしまったのだろう、というのが小生の推測であります。

二通りの読みがあって意味が異なるもの (61)

旬	ジユン 10日。一カ月を3分したときのそれぞれの10日間。	細々	コママ いかにも細かい様。
	ジュン 出盛りの時期。		ホホソリ ほっそりとして頼りない様。
上面	ジヨウメン 物の上を向いた面。	成敗	セバイ 処罰すること。
	ウツラ 物の外から見える部分。		セイメイ 成功することと失敗すること。

利用者から製作依頼を受けている原本

- 『ハンニバル 上・下』 トマスハリス著 高見浩訳 <小説>
- 『地球の歩き方』 地球の歩き方編集室編 <地理>
- 『聖霊にによるバプテスト』 阿部祐四郎著 <キリスト教>
- 『池田名誉会長の法華教方便品・寿量品講義 1、2、3』 池田大作著 <仏教>

以上のリストは、読者から音声訳の依頼を受けている本です。引き受けて頂ける方がありましたらご連絡ください。初めてのグループの方は何か5分でも結構ですから録音したものをご持参下さい。録音についてのチェックと共に、必要があれば録音技術のアドバイスをさせていただきます。

## 上手な家庭録音のすすめ

盲人情報文化センターの音声訳後期講習会では家庭録音の音声訳ボランティアを養成しています。録音スタジオを増やすことは物理的に限界がありますが、家庭録音者の場合は制限はありません。家庭で録音できる人が増えることは、その分製作能力がアップすることになります。家庭で使う録音機も専用のカセットデッキ（SONYTC-RX1000T）が3万円台で発売されており、音質もスタジオ録音とそれほど遜色がないものになっています。

今回から家庭での録音をできるだけ上手にするにはどうしたら良いか。このテーマで何回かシリーズで取り上げていきます。

### 第1回 よい録音図書の特徴とは

利用者にとってよい録音図書とはどんな図書を3つあげるとしたら、

- ①音声のみが明瞭に録音されており
- ②誤読がなく
- ③内容が正しく音声に変換されている

ことが上げられるでしょう。

③については、これまでも『ろくおん通信』で取り上げてきていますが、今回からは①の「音声のみを明瞭に録音する方法」を考えていきます。その前に、本人の発声を明瞭にすることはいうまでもありませんが。

きれいに録音する為に必要な条件をあげるとすれば、

- ①録音図書作りに向けた機器を選択する。
- ②余分な雑音を入れない。
- ③マイクを上手に使う。
- ④後追い録音を上手に。
- ⑤機械のメンテ。

などが上げられます。この中で②の“余分な雑音をいかに入れずに録音するか”に初心者は大変苦労することになります。

この雑音といっても、①環境音、②共鳴音、③反響音、④機械音、⑤操作音 ⑥自分が出す雑音、⑦電氣的な雑音などなど、さまざまな雑音があります。これらの雑音以外にも聞きづらい録音もいろいろあります。

今回は、まず、①の「機器の選択」から取り上げていきます。